運輸行政における モビリティ・マネジメント の役割

東京工業大学 藤井 聡



モビリティ・マネジメント(MM)の定義



一人一人のモビリティ(移動)が、 社会にも個人にも望ましい方向に 自発的に変化することを促す、 コミュニケーションを中心とした交通施策「望ましい」交通行動とは.....?

便利な自動車・不便な公共交通

(Everitt & Watson, 1987)

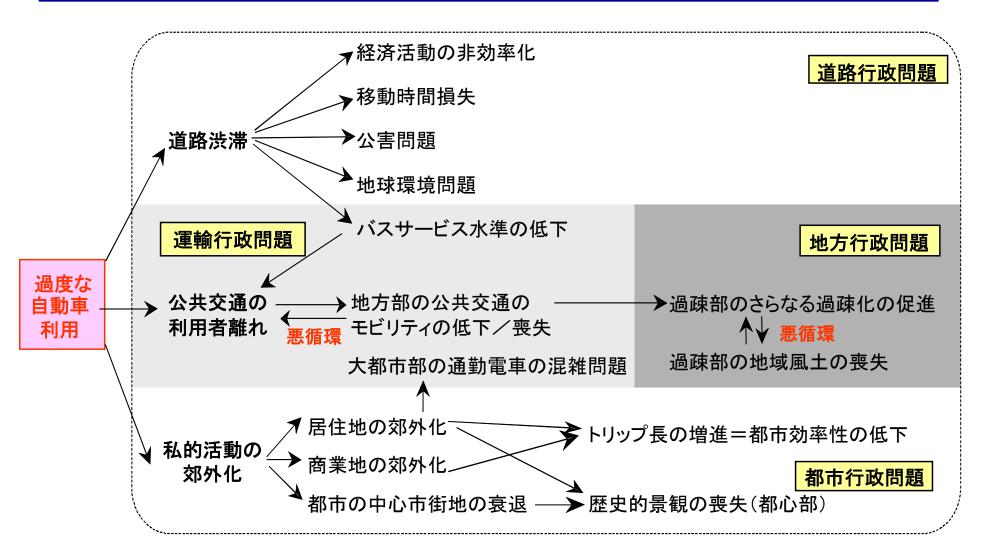
	長 所	短 所	
自動車	 ・移動時間が短い ・出発, 到着時間が自由 ・経路の選択が自由 ・たくさんの荷物を運べる ・逐一、料金を払う必要がない ・自慢できる ・プライバシーが守られる ・気分が高揚する ・(地方部では)定時性がある 	・・洗滞することがある ・ガソリン代、維持費がかかる	
電車やバス	・友達との会話 ・移動中、本を読むことが出来る	 ・利用できる時間が限られる ・経路を自由には選べない ・少しの荷物しか運べない ・毎回料金を支払う必要がある ・駅,停留所まで遠いことがある ・快適な環境とは言えない ・自慢できない/天気に左右される ・混雑する/職員の態度が悪い ・衛生的でない/騒音がする/危険がある ・移動時間が長い/(定時性がない) 	月月月

自動車の圧勝・

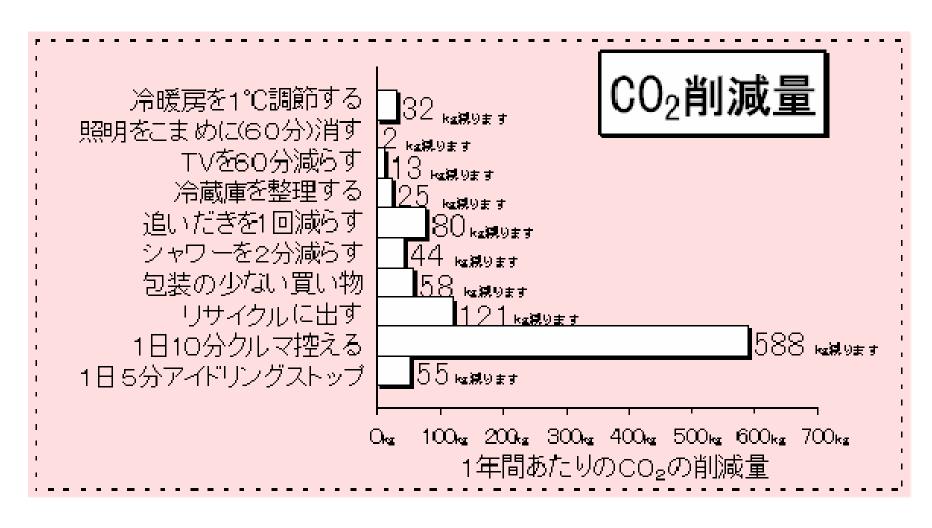
.....しかしながら.....

自動車利用の社会的デメリット



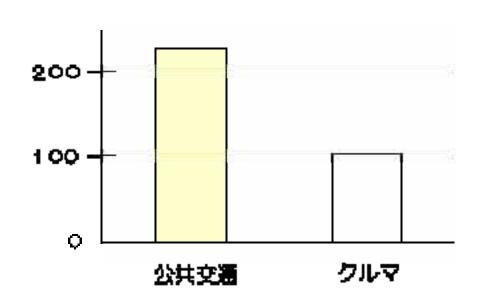


クルマ と 環境問題



クルマ と 健康

移動に伴う賞賞カロリー(koai)



徒歩20分

=

水泳8分 ジョギング10分

◇ 例えば、1 時間クルマで移動する代わりにパス・電車を えば、それだけで消費カロリーは2倍以上になります。

つまり、クルマは、便利だけど...

渋滞 の問題 環境 の問題

そして...

健康 の問題 維持費 の問題 等....





社会的ジレンマー

短期的・利己的にメリットのある行動を取れば、社会的・長期的なメリットは低下してしまう 状況

「いま・ここ」だけの利益/利便/快楽を追求すれば、

結果的に、「全員(社会)」が損をして、

結果的に、「自分」も損をしてしまう.

個人的な例: ダイエット, 麻薬, 喫煙...

社会的な例: 違法駐車,人口爆発,環境問題...

節度ある行動こそが 求められる合理的行動

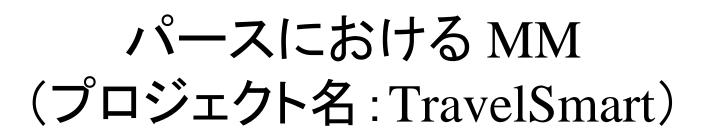


節度ある交通行動

(=かしこいクルマの使い方)

を目指す交通施策

モビリティ・マネジメント





- 実施体制と費用負担
 - 州整備局が主体
 - 州:8割、市:1割、バス事業者:1割
 - 実施コスト: 100万A\$/1万世帯(1世帯約8000円)
- ・スケジュール

- 1997-1999 南パース市(パイロット)/400世帯

- 1999-2000 南パース市(全世帯)

- 2001-2004 7都市(全世帯)

今年中に,約17万世帯を対象

- 2004-2005 他3都市(全世帯)

具体例(南パース市)

- ・ 対象エリアの人口と世帯
 - 3.5万人、1.52万世帯
- 実施チームの設置
 - 約20名規模、現地家屋に間借り
- ・ IM法の実施期間
 - 約1ヶ月
 - アポ→電話→分類→グッズのパッキング→訪問配布→再訪問







Booragoon

Fremantle

Morley

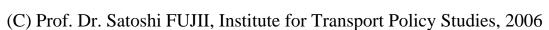
Belmont

Cannington

Legend

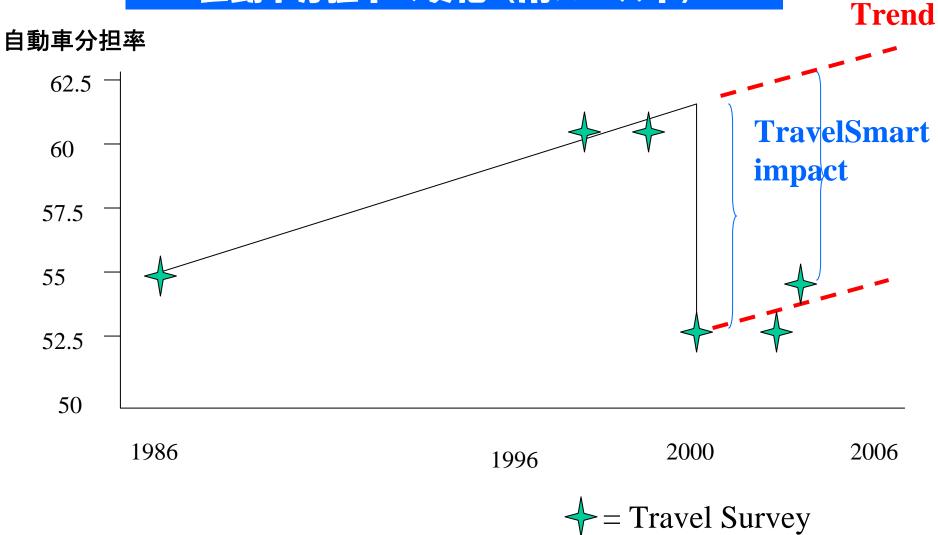
Stage 1 Stage 2

Stage 3





自動車分担率の変化(南パース市)





このようなモビリティ・マネジメントは、

日本でも

有効なのだろうか?

宇治における 職場対象MM事例



かしこいクルマの使い方を考えるプロジェクト宇治 概要

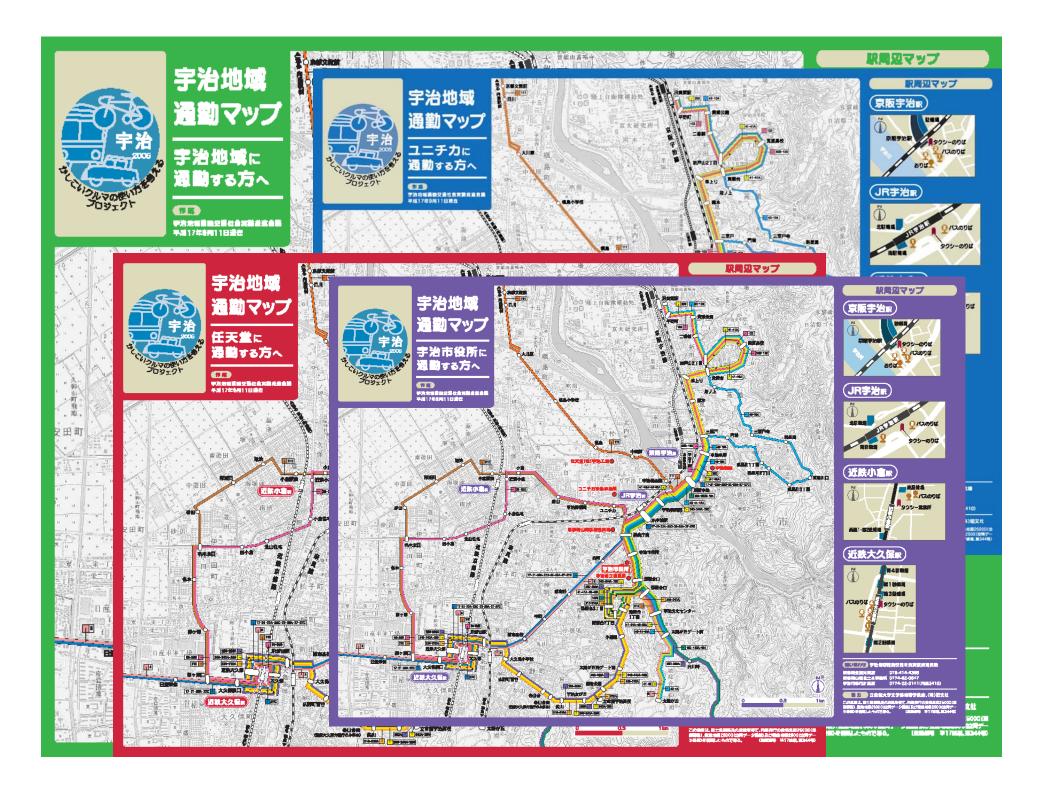
〇目的:中心市街地に集中する通勤渋滞の解消

〇実施体制: 宇治地域通勤交通社会実験推進会議 (国·府·宇治市·商工会議所·地元企業·交通事業者·NPO)

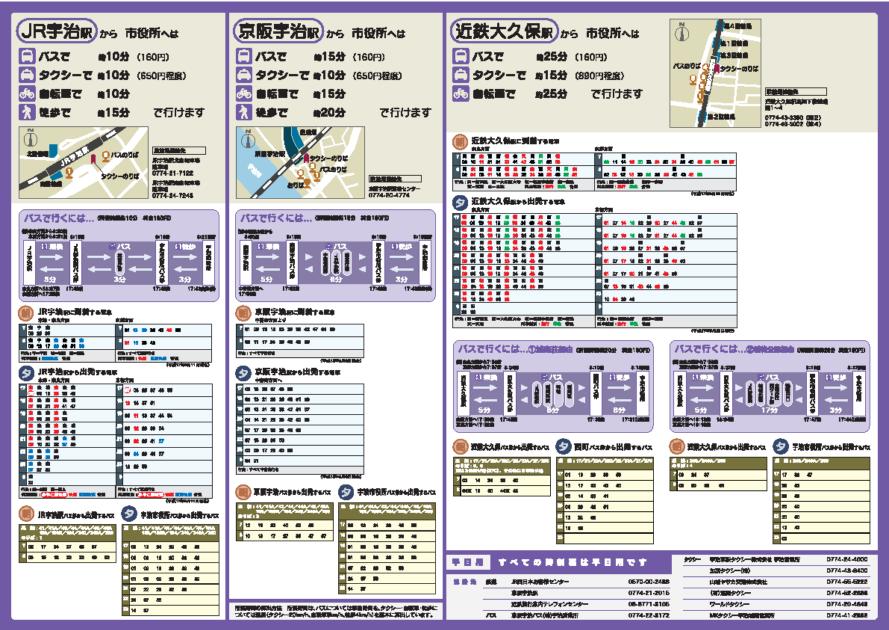
〇実施内容:

- ワンショットTFP(9/12配布~9/16期限)
 宇治地域の事業所の全通勤者(約5000人)に、
 以下の3点セットを"one shot"で配布
 - ①動機付け冊子
 - ②通勤マップ
 - ③ アンケート (←「考えるきっかけ」を与えるもの)
- かしこいクルマの使い方を考える講演会 (9/2開催)

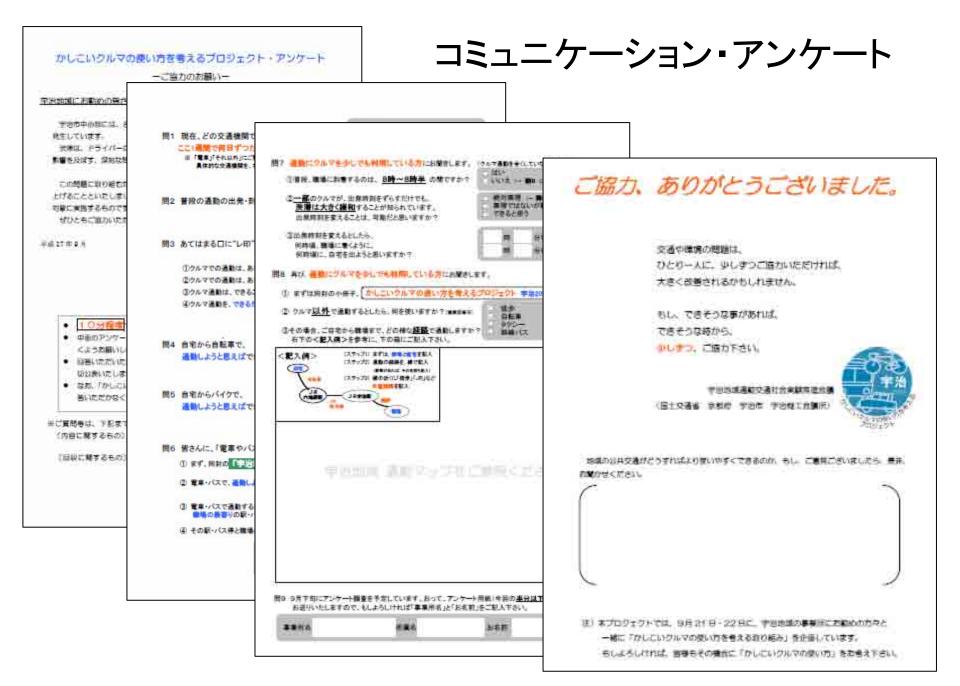
行政向け研修(昼間)と企業向け講演会(夜)(参加150名)



市役所版



(C) Prof. Dr. Satoshi FUJII, Institute for Transport Policy Studies, 2006



(C) Prof. Dr. Satoshi FUJII, Institute for Transport Policy Studies, 2006

実証実験の結果



• ワンショットTFP: アンケート回収率約7割 (3千通を超える回答)

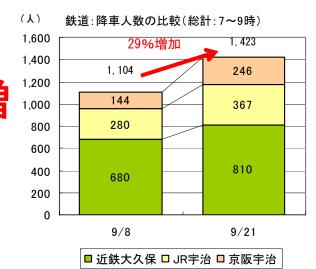
鉄道利用者の増大(9/8→9/21で比較 朝の7・8時台定期外利用)

(9/12~16にアンケート・地図・冊子を配布)

JR宇治駅 280人 → 367人 ↑ 3駅の定期券外が

近鉄大久保駅 680人 → 810人

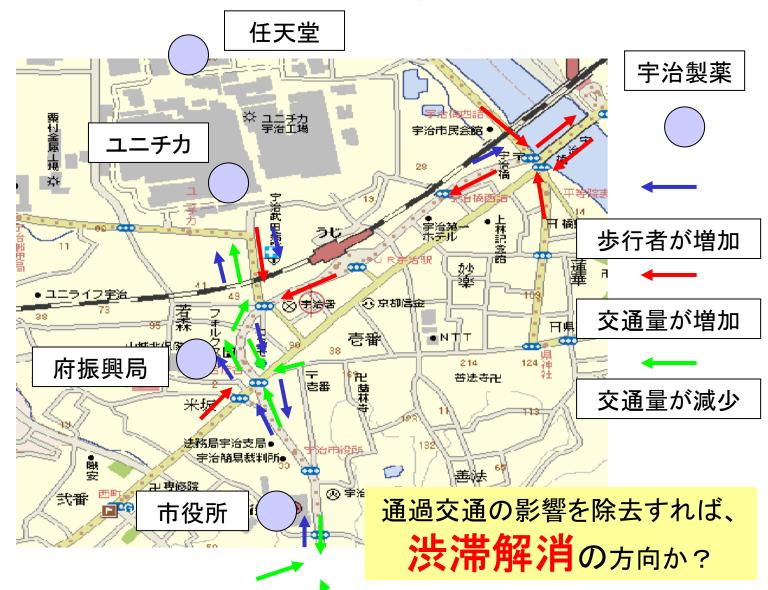
京阪宇治駅 144人 → 246人 対 約29%増



• 歩行者・自転車利用者も増大

自動車交通量の変化(9/8と9/21の比較)

7:30~8:30 の自動車交 通量で比較

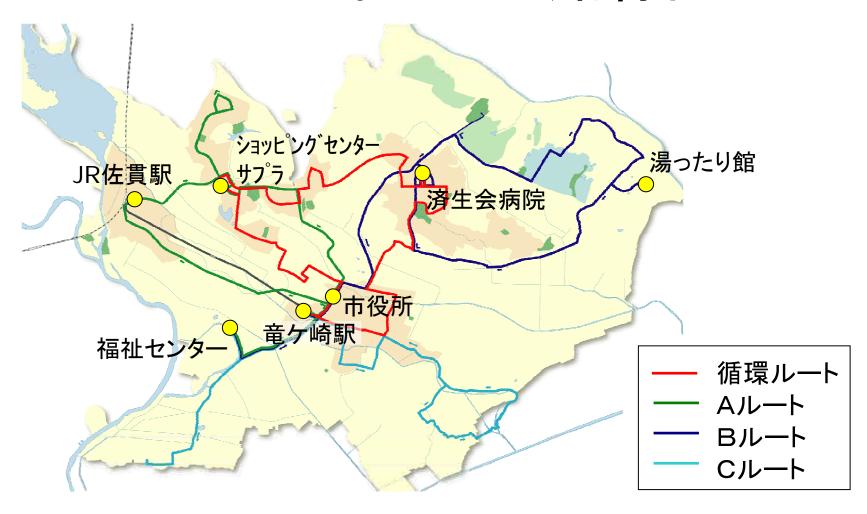


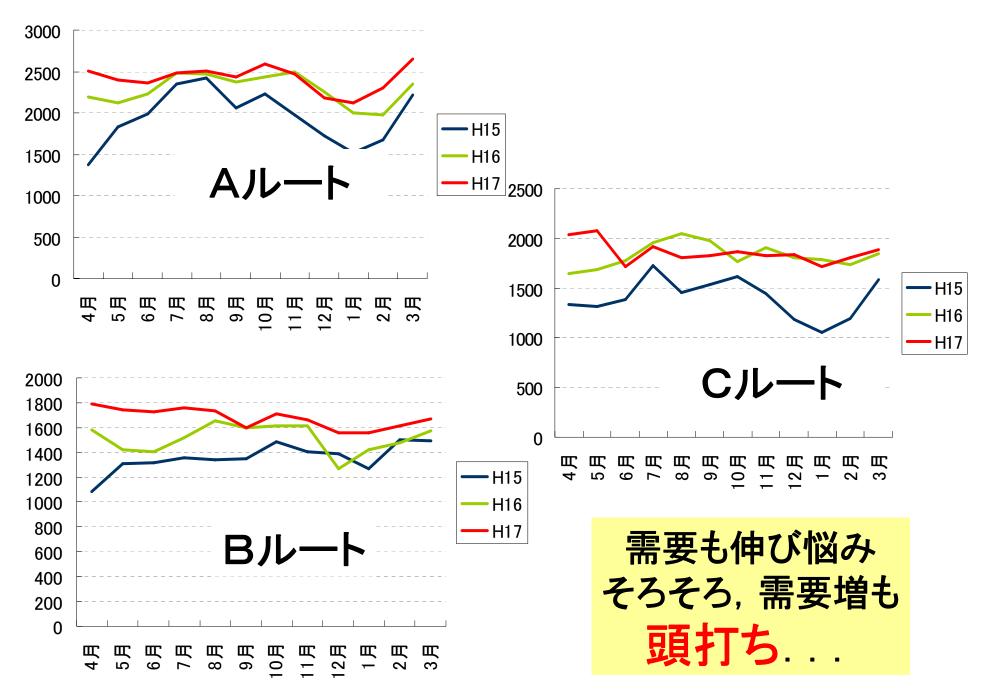


竜ヶ崎における コミュニティ・バス利用促進MM



コミュニティバスの路線図





(C) Prof. Dr. Satoshi FUJII, Institute for Transport Policy Studies, 2006

MM内容

(1)ニューズレター配布

- コミュニティバスに関する情報, 交通に関する話題を提供 →「市報」と共に配布(=全戸配布)

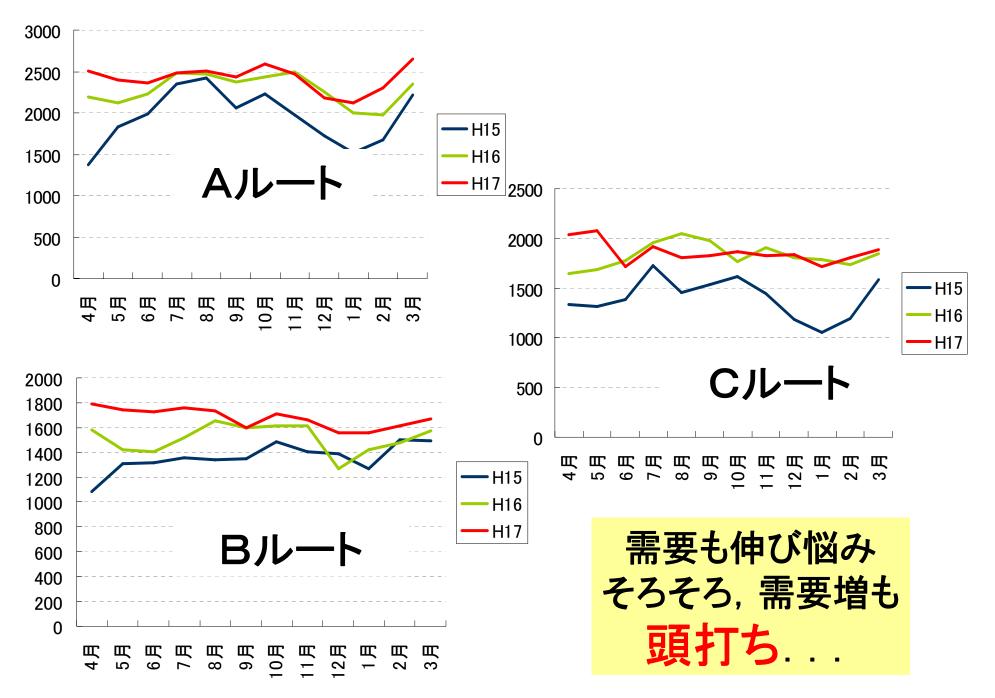
(2)TFPを実施

- 「循環ルート」沿線居住者を中心とする5000名を対象
- -「簡易TFP」を実施.
 - step 1) 事前調査
 - step 2) 個別情報提供 (300名)

[意見要望があった方には, 個別的に返信]

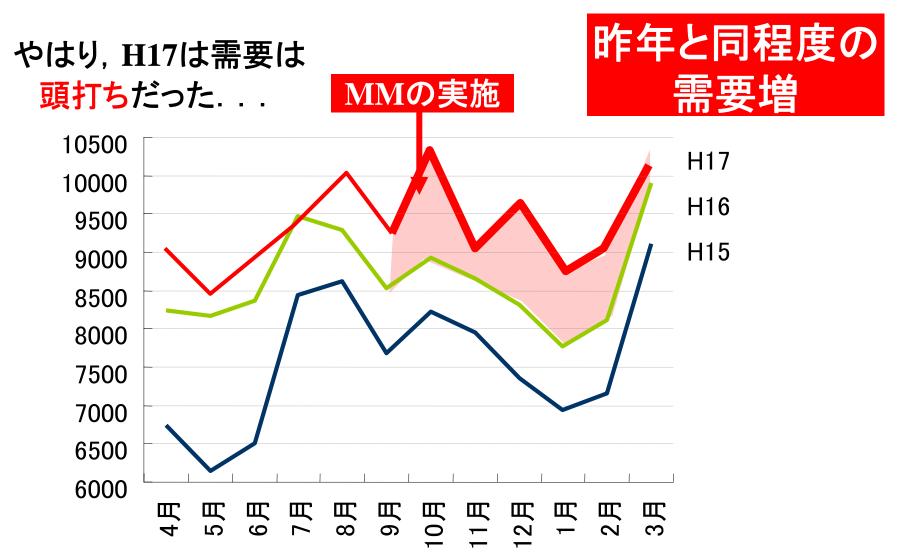
コミュニケーションツールの例



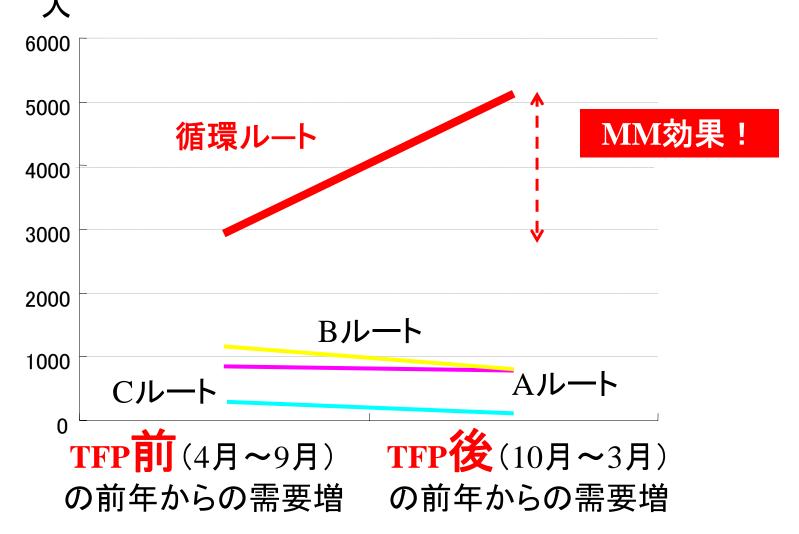


(C) Prof. Dr. Satoshi FUJII, Institute for Transport Policy Studies, 2006

TFP対象世帯が多く含まれる「循環ルート」の場合...



H17における前年からの需要の増加量



これからの モビリティ・マネジメント



昨年度(2005年度)に 国内で実施されたMM事例



- ·国土交通政策研究所の全国TFP
- ・名古屋市における居住者MMの取り組み
- "職場MMの取り組み
- ・龍ヶ崎市におけるコミュニティバス 利用促進MM
- ・高崎市における転入者MM
- ・天神協議会(福岡)における取り組み
- ・秦野市TDMにおける小学校の取り組み
- ·宇治市における職場MM(TFP)
- ・相模原における企業バス導入実験時 におけるMM
- ・大分市における職場MMの取り組み
- ・京都市南部における職場MMにおける 「組織的プログラム」の推進
- ・京都府における小学校MM
- •埼玉県における職場MMの基礎調査
- ・川西・猪名川TFPの長期効果分析

- ・和歌山市におけるMM事例
- ・福山市における学校MM
- "マスメディアとタイアップしたMM
- ·能勢電鉄利用促進MM
- ·山陽電鉄利用促進MM
- ·健康歩行TFP (岡山大学)
- TFPレビュー研究/メタ分析 (東京工業大学)
- •調査回収率研究 (東京工業大学)
- ・プローブデータを用いたTFPの可能性 (愛媛大学)
- ・熊本におけるTFPの取り組み (熊本大学)
- ・筑波大学における通勤通学バス利用促進 MM(筑波大学)
- ・健康情報を活用したTFPの取り組み (東京大学)

等

これからの課題

- 継続的財源をどう確保するのか?
- どのような組織で取り組むのか?
- MMを支援する制度 法律とは?
- より効果的・効率的な技術とは?



そこで....



第一回日本モビリティ・マネジメント会議

1st Japanese Conference On Mobility Management

1st JCOMM

主催 国土交通省・(社)土木学会

第一回日本モビリティ・マネジメント会議

1st JCOMM

7月8日(土)

- ・「MMの手引き」(土木学会) 講習会
 - 手引き書執筆陣からの講習会
- •政策基調講演
 - 国交省·総合政策局·交通政策課(佐々木課長)
 - 国交省・道路局・企画課経済調査室(深澤室長)
- •海外招待基調講演
 - 欧州モビリティ・マネジメント会議(ECOMM) 代表
 - 豪州MMコンサルタント・SDG, Elizabeth Ampt
- ・ポスター発表 (全国MM事例担当者)

7月9日(日)

・口頭発表&ポスター発表 (全国MM事例担当者)

詳しくは、同封の チラシ または…

http://www.plan.cv.titech.ac.jp/fujiilab/jcomm/ 発表申込み 6月1日 参加申込み 6月16日